市　の　財　政

平 成 ２２ 年 １２ 月

千　　葉　　市

目　　次

Ⅰ　平成22年度上半期における予算の執行状況 ―――― 1

Ⅱ　市民負担の状況 ―――― 3

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高 ―――― 4

Ⅳ　公営企業の上半期の業務状況 ―――― 6

Ⅴ　平成21年度決算の状況 ―――― 9

Ⅵ　財政指標 ―――― 16

※この公表の数値については、百万円単位で整理しています。
　表示単位未満を四捨五入してあるので割合・一人あたりの金額・合計等が一致しない場合があります。

「千葉市財政状況の公表に関する条例」に基づき、市の財政状況について公表します。

Ⅰ　平成22年度上半期における予算の執行状況

平成22年９月30日現在

一　般　会　計

平成22年度の歳入歳出予算は、当初3,503億70百万円でしたが、その後９月に補正を行いましたので、前年度からの繰越事業費をあわせた９月末の予算現額は3,604億30百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,862億34百万円、予算に対する収入割合で51.7％（前年同期50.3％）、支出総額で1,392億62百万円、予算に対する支出割合で38.6％（前年同期38.1％）となっています。

特　別　会　計

公営企業会計を除く15の特別会計の総予算は、当初3,035億20百万円でしたが、その後５月及び９月に補正を行いましたので、前年度からの繰越事業費をあわせた９月末の予算現額は3,112億12百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,101億44百万円、予算に対する収入割合で35.4％（前年同期39.8％）、支出総額で1,560億37百万円、予算に対する支出割合で50.1％（前年同期52.6％）となっています。

一般会計と特別会計の平成22年９月30日現在の予算執行状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

区分 / 会計名		予算現額 当初予算額	予算現額 補正予算額（上期）	予算現額 繰越事業繰越額	予算現額 計	歳入 収入済額（累計）	歳入 収入割合（累計）	歳出 支出済額（累計）	歳出 支出割合（累計）
一般会計		350,370	1,509	8,551	360,430	186,234	51.7％	139,262	38.6％
特別会計	国民健康保険事業	84,587	7,540	－	92,127	28,246	30.7	43,898	47.6
	老人保健医療事業	25	5	－	30	6	20.0	3	10.0
	介護保険事業	41,769	137	－	41,906	15,538	37.1	17,163	41.0
	後期高齢者医療事業	7,446	－	－	7,446	2,619	35.2	1,487	20.0
	母子寡婦福祉資金貸付事業	249	－	－	249	101	40.6	135	54.2
	霊園事業	645	－	－	645	381	59.1	287	44.5
	農業集落排水事業	499	－	－	499	21	4.2	32	6.4
	競輪事業	16,004	－	－	16,004	3,123	19.5	3,299	20.6
	中央卸売市場事業	1,108	－	－	1,108	316	28.5	274	24.7
	都市計画土地区画整理事業	600	－	－	600	4	0.7	108	18.0
	市街地再開発事業	1,578	－	10	1,588	0	0.0	730	46.0
	動物公園事業	1,275	－	－	1,275	213	16.7	433	34.0
	公共用地取得事業	1,024	－	－	1,024	－	－	235	22.9
	学校給食センター事業	2,290	－	－	2,290	430	18.8	642	28.0
	公債管理	144,421	－	－	144,421	59,145	41.0	87,309	60.5
	小計	303,520	7,682	10	311,212	110,144	35.4	156,037	50.1
合計		653,890	9,191	8,561	671,642	296,378	44.1	295,299	44.0

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

今期中の補正予算の主な内容は次のとおりです。

９月補正予算

一　般　会　計　　15億 9百万円

市税過年度還付金等	10億70百万円	市税の過年度還付金及び還付加算金
都市基盤整備	2億73百万円	電線共同溝整備他
市税過納金和解金	67百万円	市税過徴収に係る和解金
雇用対策	32百万円	被保護者就労促進他
消防活動損害和解金	22百万円	消防活動水損事故和解金
子ども手当相当額特別支援	21百万円	子ども手当相当額の支給

特　別　会　計　　1億42百万円

介護保険事業	1億37百万円	償還金、介護給付準備基金積立金
老人保健医療事業	5百万円	償還金

※　この他、国民健康保険事業特別会計において、繰上充用に係る歳入歳出予算の増額を、専決処分により補正しました。

平成22年5月28日　国民健康保険事業特別会計　75億40百万円

一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。
特別会計	特定の目的のために設けられた会計をいいます。千葉市では国民健康保険事業ほか14の会計が条例で設置されています。 また、病院事業、下水道事業、水道事業は公営企業会計と呼び、地方公営企業法に基づき、独立採算を原則として設置された特別会計で、他の特別会計とは区別しています。
補正予算	予算の編成後に生じた理由によって、既定予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立した予算をいいます。

Ⅱ　市　民　負　担　の　状　況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約５割を占めています。

平成22年９月末の予算額でみますと、市税の予算額は、1,623億94百万円（滞納繰越分と国有資産等所在市町村交付金及び納付金を除く。）となっていますので、これを平成22年９月末の人口（935,796人）及び世帯数（408,277世帯）で割りますと、市民１人あたり173,535円、１世帯あたり397,754円の負担となっています。

また、市民のために使われる経費（これを行政経費といいます。ただし、歳出予算現額から繰越額を除く。）は、市民１人あたり376,021円、１世帯あたり861,863円となっています。

なお、行政経費と市税負担額の差額は、市債や国庫支出金等市税以外の歳入で対応しています。

市民一人あたりの市税負担額・・・・・・・	173,535 円	うち市民税	78,594 円
		うち固定資産税	69,437 円
		その他	25,504 円
１世帯あたりの市税負担額・・・・・・・・	397,754 円	うち市民税	180,143 円
		うち固定資産税	159,154 円
		その他	58,457 円
市民一人あたりの行政経費・・・・・・・・	376,021 円		
１世帯あたりの行政経費・・・・・・・・・	861,863 円		

行政経費の目的別内訳

	民生費	公債費	土木費	商工費	総務費	教育費	その他	合計
構成比	32.1%	16.8%	12.8%	9.4%	8.3%	8.2%	12.4%	100.0%
1人当たり	120,714 円	63,183 円	47,973 円	35,510 円	31,360 円	30,709 円	46,572 円	376,021 円
1世帯当たり	276,685 円	144,819 円	109,957 円	81,391 円	71,878 円	70,387 円	106,746 円	861,863 円

（注）人口、世帯数は住民基本台帳登録によります。

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高

平成22年９月30日現在

財産の現在高

公有財産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用、または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と、普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）とに区分されます。

公営企業会計を除く公有財産の現在高は次のとおりです。

区分			土地	建物	船舶	航空機	有価証券	出資による権利
			㎡	㎡	隻	機	百万円	百万円
公有財産	行政財産	公用	1,090,585.94	254,193.88	1	2		
		公共用	13,658,358.40	2,302,851.49				
		計	14,748,944.34	2,557,045.37	1	2		
	普通財産		670,436.76	63,859.23			1,219	2,982
合計			15,419,381.10	2,620,904.60	1	2	1,219	2,982

基金

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。

（単位：百万円）

区分	現在高	設置目的
文化基金	130	市民文化の振興を図るため
市庁舎整備基金	3,577	市庁舎整備事業に必要な経費に充てるため
財政調整基金	1,579	財政の健全な運営に資するため
市債管理基金	43,176	市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理のため
社会福祉基金	232	社会福祉の増進を図るため
地域環境保全基金	611	地域の環境の保全及び創造に資するため
地下水浄化事業推進基金	42	地下水の水質浄化事業を推進するため
リサイクル推進基金	132	廃棄物の減量及び再利用を推進するため
緑と水辺の基金	2,921	緑と水辺を生かした快適な都市環境を創造するため
都市モノレール基金	211	都市モノレールの更新等に必要な資金を積み立てるため
美術品等取得基金	1,008	美術館に収蔵する美術品等を円滑に取得するため
介護給付準備基金	1,531	介護保険事業に係る財政の中期的な調整を図るため
介護従事者処遇改善臨時特例基金	144	介護報酬の改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため
競輪事業基金	175	競輪場の施設の整備及び競輪事業の健全な運営のため
合計	55,469	

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計が一致しない場合があります。

市債の現在高

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といいますが、これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備も可能となります。

（単位：百万円）

区分	現在高	借入先				
		公的資金				民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	その他	
一般会計	689,162	82,367	38,026	15,379	0	553,390
特別会計	37,014	5,825	15	3,970	1,410	25,794
市街地再開発事業	16,116	503	0	25	0	15,588
公共用地取得事業	8,637	0	0	0	0	8,637
その他	12,261	5,322	15	3,945	1,410	1,569
合計	726,176	88,192	38,041	19,349	1,410	579,184

（注）現在高には、千葉市債管理基金積立額は含みません。

一時借入金の現在高

年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足が生じた場合に、その不足を補うために、一般会計にあっては銀行等から、予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を一時借入金といい、その状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入額累計	今期中償還額累計	今期末残高	今期中最高借入高
一般会計	50,000	0	71,600	59,600	12,000	26,000

Ⅳ　公営企業の上半期の業務状況

平成22年９月30日現在

事業の概況

病院事業

青葉病院及び海浜病院の今期中の入院及び外来患者数の利用総数は、264,279人となっています。

区分	病床数	今期中の患者利用状況				診療科目
		入院患者数	１日平均	外来患者数	１日平均	
	床	人	人	人	人	
青葉病院	380	49,762 (46,844)	272 (256)	101,771 (99,341)	821 (808)	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科
海浜病院	301	38,020 (39,458)	208 (216)	74,726 (74,458)	562 (559)	内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

（ ）は前年同期の状況です。

下水道事業

今期中の有収水量は、47,441,465m^3となっています。

行政区域内人口	958,457 人	整備区域内人口	931,622 人
下水道汚水処理普及率	97.2 %		
接続戸数	401,856 戸	うち今期中増加接続戸数	3,498 戸
接続人口	917,371 人	うち今期中増加接続人口	4,622 人
整備面積	12,175 ha	うち今期中増加整備面積	2 ha
今年度接続助成予定件数	450 件	うち今期中接続助成件数	48 件

水道事業

今期中の配水量は、2,452,075m^3となっています。

計画給水人口	78,100 人	給水区域内人口	57,147 人
給水普及率	81.3 %		
給水戸数	17,803 戸	うち今期中増加給水戸数	324 戸
給水人口	46,472 人	うち今期中増加給水人口	377 人

配水状況

区分	今期中
配水量	2,452,075 m^3 (2,390,895)
有収水量	2,334,191 m^3 (2,280,260)

（ ）は前年同期の状況です。

経 理 の 概 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の予算執行状況は次のとおりとなっています。

なお、表に使われている収益的収支とは、医療サービス、汚水の処理、水の供給のように経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

病 院 事 業

（単位：百万円）

区分		予算現額				収入		支出	
		当初予算額	補正予算額（上期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
青葉病院	収益的収入	9,329	—	—	9,329	3,236	34.7%		
	収益的支出	9,329	—	—	9,329			3,936	42.2%
	資本的収入	84	—	—	84	0	0.0%		
	資本的支出	1,046	—	—	1,046			495	47.3%
海浜病院	収益的収入	7,483	—	—	7,483	3,538	47.3%		
	収益的支出	7,483	—	—	7,483			2,975	39.8%
	資本的収入	582	—	—	582	0	0.0%		
	資本的支出	1,248	—	—	1,248			327	26.2%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

下 水 道 事 業

（単位：百万円）

区分	予算現額				収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	22,715	—	—	22,715	14,818	65.2%		
収益的支出	22,089	—	—	22,089			5,083	23.0%
資本的収入	12,199	—	5,213	17,412	2,031	11.7%		
資本的支出	21,251	—	5,257	26,507			10,430	39.3%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

水 道 事 業

（単位：百万円）

区分	予算現額				収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	2,057	—	—	2,057	548	26.6%		
収益的支出	2,004	—	—	2,004			599	29.9%
資本的収入	1,593	—	—	1,593	24	1.5%		
資本的支出	2,259	—	22	2,281			606	26.6%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

市債の現在高

（単位：百万円）

公営企業会計名	現在高	借入先			
		公的資金			民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	
病院事業	23,487	16,163	1,755	3,572	1,997
下水道事業	269,702	96,814	53,858	99,318	19,712
水道事業	17,187	10,010	0	6,905	272
合計	310,376	122,987	55,613	109,795	21,981

一時借入金の現在高

（単位：百万円）

公営企業会計名	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入額累計	今期中償還額累計	今期末残高	今期中最高借入高
病院事業	300	0	0	0	0	0
下水道事業	15,000	0	0	0	0	0
水道事業	1,000	0	0	0	0	0

Ⅴ　平　成　21　年　度　決　算　の　状　況

平成21年度は、「新行政改革推進計画」及び「財政健全化プラン」の最終年次として、これまでの取り組みを振り返り、目標の達成に向け、推進項目への取り組みを強化し、改善策等については可能な限り予算に反映させることとしたほか、「第２次５か年計画」については、緊急性・重要性などから事業の厳選を行った上で、計画事業の着実な推進を図ることを基本方針として予算を編成しました。

予算の執行にあたっては、全ての職員が「市民視点」、「納税者の視点」に立ち、創意と工夫を持って取り組み、市税等の歳入の確保に万全を期すとともに、常に最少の経費で最大の効果をあげることを念頭に、一人ひとりの市民が、将来に夢をもつとともに、千葉市に住んでいることに誇りをもち、子育てや健康、環境など地域社会での生活に不安を感じることなく、安全で安心して、いきいきと暮らせるまちづくりを実現するため、保健・医療・福祉、環境、教育等の各分野について、ハード・ソフトの両面にわたる施策を推進するとともに、道路、公園、下排水、廃棄物処理等生活関連施設や都市基盤の整備を推進し、行政水準の維持向上と市民福祉の一層の増進に努めました。

この結果、一般会計の決算額は、歳入3,530億8,700万円、歳出3,518億4,400万円となり、実質収支は7億1,800万円となりました。

また、特別会計（企業会計の病院事業、下水道事業及び水道事業を除く。）15会計の決算総額は、歳入3,069億6,900万円、歳出3,142 億9,800万円となりました。

一般会計の収支状況

区　　分	金　　額
1 歳入総額	353,087　百万円
2 歳出総額	351,844
3 歳入歳出差引額	1,243
4 翌年度へ繰り越すべき財源	525
5 実質収支額	718

2　決算の内容

（１）一般会計

（歳入）

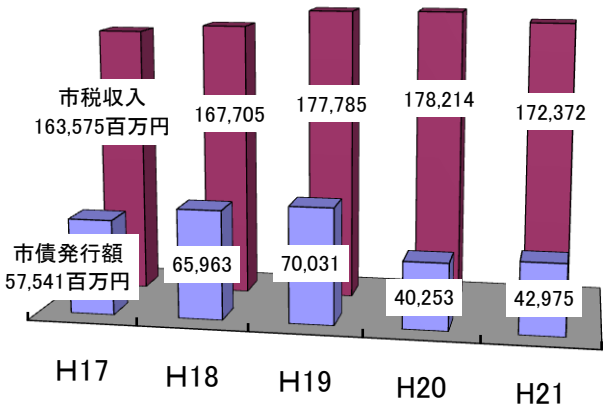
財源別表（対前年度比較）

（単位：百万円）

科目		平成21年度 決算額	平成21年度 構成比	平成20年度 決算額	平成20年度 構成比	対前年度増減 増減額	対前年度増減 増減率
自主財源	市自体の財源	228,280	% 64.7	220,003	% 68.0	8,277	% 3.8
	市税	172,372	48.8	178,214	55.1	△ 5,842	△ 3.3
	諸収入	33,715	9.6	23,683	7.3	10,033	42.4
	使用料及び手数料	8,108	2.3	8,143	2.5	△ 35	△ 0.4
	繰入金	8,092	2.3	2,449	0.8	5,644	230.5
	その他	5,993	1.7	7,514	2.3	△ 1,522	△ 20.3
依存財源	市　　債	42,975	12.2	40,253	12.4	2,723	6.8
	国から交付されるもの	58,377	16.5	39,444	12.2	18,933	48.0
	国庫支出金	52,760	14.9	33,457	10.3	19,303	57.7
	その他	5,617	1.6	5,987	1.9	△ 370	△ 6.2
	県から交付されるもの	23,455	6.6	23,698	7.4	△ 244	△ 1.0
	県支出金	7,732	2.2	7,330	2.3	402	5.5
	その他	15,723	4.4	16,368	5.1	△ 646	△ 3.9
	小　　計	124,807	35.3	103,395	32.0	21,412	20.7
計		353,087	100.0	323,398	100.0	29,689	9.2

自主財源と依存財源
　自主財源とは、市税や使用料及び手数料等のように市が自主的に収入するものです。
　依存財源とは、国庫支出金や県支出金、市債等のように国や県の意思決定に基づいて収入されるものです。

市税収入と市債発行額の推移



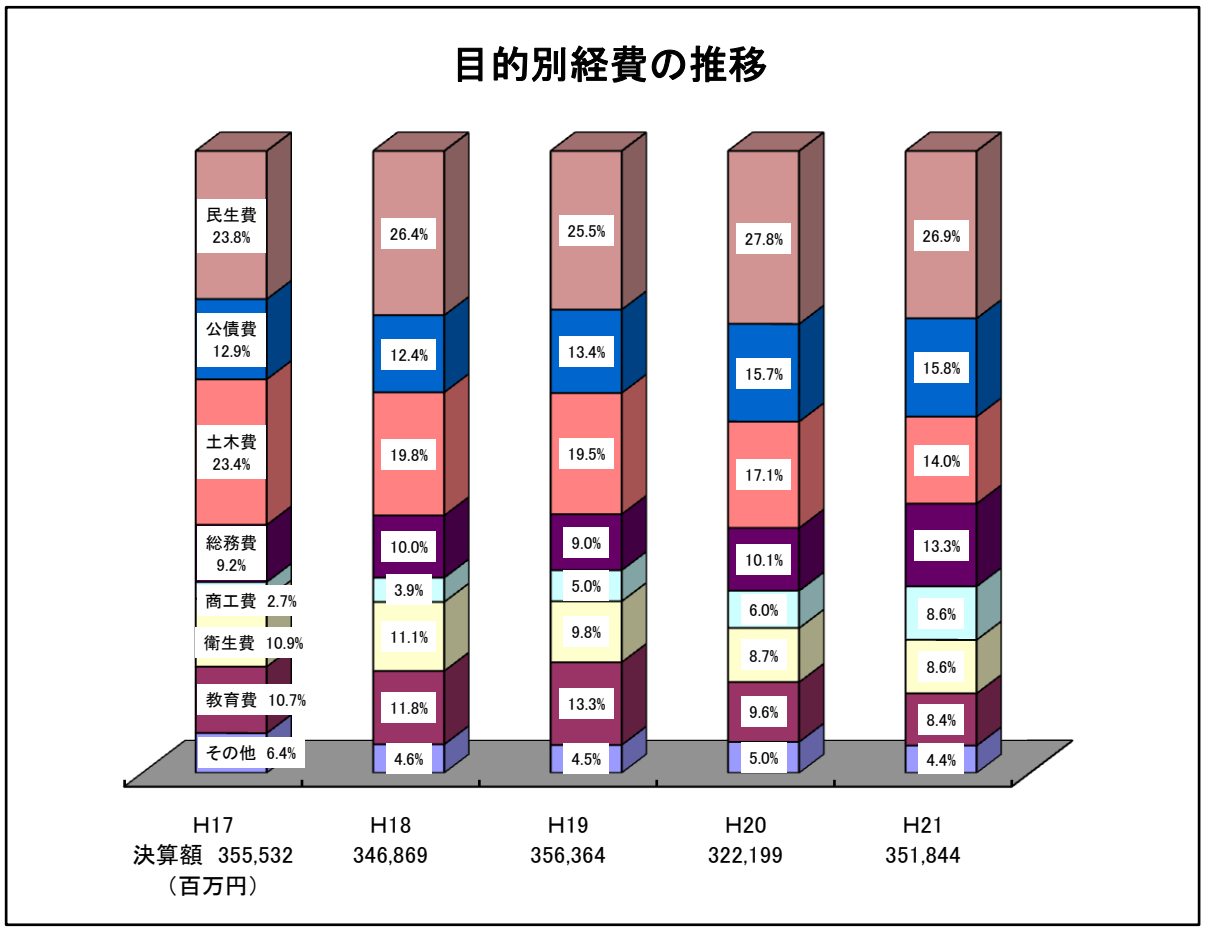
（歳出）

目的別表（対前年度比較）

（単位：百万円）

科　　目	平成21年度		平成20年度		対前年度増減	
	決　算　額	構 成 比	決　算　額	構 成 比	増減額	増 減 率
		%		%		%
民　生　費	94,574	26.9	89,657	27.8	4,917	5.5
公　債　費	55,605	15.8	50,519	15.7	5,086	10.1
土　木　費	49,293	14.0	55,193	17.1	△ 5,900	△ 10.7
総　務　費	46,949	13.3	32,688	10.1	14,261	43.6
商　工　費	30,357	8.6	19,431	6.0	10,926	56.2
衛　生　費	30,318	8.6	28,096	8.7	2,222	7.9
教　育　費	29,442	8.4	30,864	9.6	△ 1,422	△ 4.6
そ　の　他	15,306	4.4	15,751	5.0	△ 444	△ 2.8
計	351,844	100.0	322,199	100.0	29,645	9.2

目的別経費と性質別経費
　目的別経費とは、どのような行政上のために費やされるかという基準により分類されるもので、民生費、土木費、公債費等があります。
　性質別経費とは、具体的な行政目的がどのようなものであるかにかかわりなく、その経費がどのような性質を有するかという点に着目して分類するもので、人件費、扶助費、普通建設事業費等があります。



性質別表（対前年度比較）

（単位：百万円）

科目		平成21年度		平成20年度		対前年度増減	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
			%		%		%
義務的経費	人件費	62,721	17.8	63,535	19.7	△ 814	△ 1.3
	扶助費	58,427	16.6	53,823	16.7	4,605	8.6
	公債費	55,273	15.7	50,195	15.6	5,078	10.1
	小計	176,421	50.1	167,553	52.0	8,868	5.3
投資的経費計		38,882	11.1	43,100	13.4	△ 4,218	△ 9.8
その他の経費	補助費等	41,224	11.7	26,078	8.1	15,146	58.1
	物件費	40,168	11.4	39,127	12.1	1,041	2.7
	投資及び出資金･貸付金	27,149	7.7	16,608	5.2	10,541	63.5
	その他	28,000	8.0	29,733	9.2	△ 1,734	△ 5.8
	小計	136,541	38.8	111,546	34.6	24,995	22.4
計		351,844	100.0	322,199	100.0	29,645	9.2

義務的経費と投資的経費

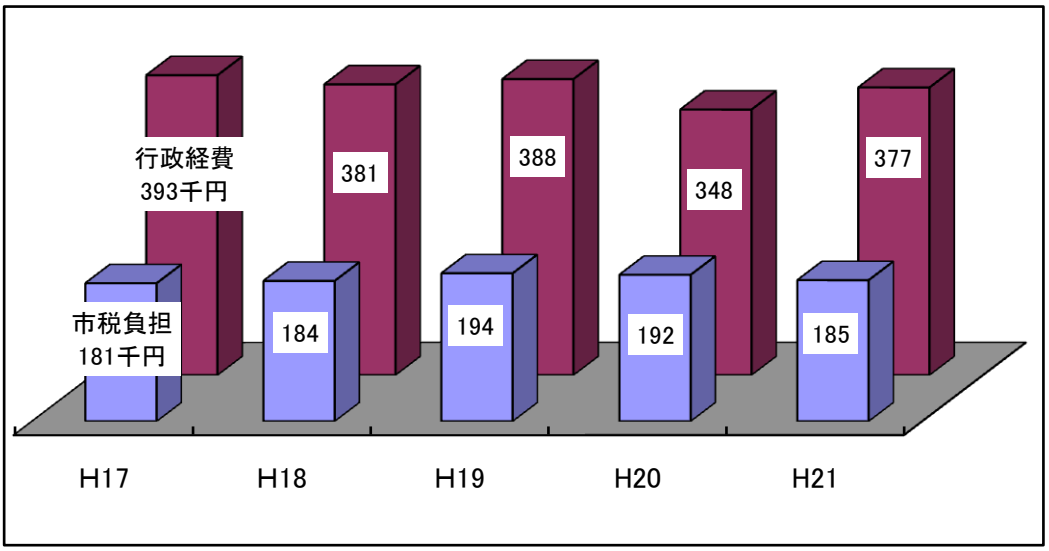
義務的経費とは、極めて硬直性の強い経費であって、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費をいいます。

投資的経費とは、支出効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るもので、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費をいいます。

（市民負担の状況）

市政運営に必要な経費の財源は、大きく自主財源と依存財源に分けられますが、そのうち自主財源の大部分を占めているのが市税です。

市民のために使われる経費（行政経費）ならびに市税負担額の市民１人あたり（各年度末日の住民基本台帳登録人口）の推移は次のとおりとなっています。



(2)　特別会計

平成21年度の公営企業会計を除く特別会計15会計の決算総額は歳入で3,069億69百万円、歳出で3,142億98百万円となっています。

会計別の決算額は、次の表のとおりですが、公債管理、国民健康保険事業、介護保険事業、競輪事業の４会計で、歳入歳出とも決算総額の９割以上を占めています。

（単位　百万円）

会計別		予算現額	歳入		歳出			歳入歳出差引額 (A)-(B)
			収入済額 (A)	収入割合	支出済額 (B)	支出割合	翌年度繰越額	
				%		%		
特別会計	国民健康保険事業	86,843	75,672	87.1	83,196	95.8	－	△ 7,524
	老人保健医療事業	363	196	54.0	191	52.6	－	5
	介護保険事業	40,195	39,584	98.5	39,447	98.1	－	137
	後期高齢者医療事業	6,352	6,305	99.3	6,272	98.7	－	33
	母子寡婦福祉資金貸付事業	239	251	105.2	231	97.0	－	20
	霊園事業	658	593	90.0	593	90.0	－	－
	農業集落排水事業	466	457	98.2	457	98.2	－	－
	競輪事業	16,596	15,223	91.7	15,222	91.7	－	1
	中央卸売市場事業	1,144	1,041	91.0	1,041	91.0	－	－
	都市計画土地区画整理事業	517	497	96.1	497	96.1	－	－
	市街地再開発事業	2,503	2,386	95.3	2,386	95.3	10	0
	動物公園事業	1,312	1,215	92.5	1,215	92.5	－	－
	公共用地取得事業	3,416	3,342	97.8	3,342	97.8	－	－
	学校給食センター事業	2,214	2,120	95.8	2,120	95.8	－	－
	公債管理	159,804	158,086	98.9	158,086	98.9	－	－
	計	322,623	306,969	95.1	314,298	97.4	10	△ 7,329

（注）１　収入割合・支出割合は円単位での割合を示しています。

２　表示単位未満を四捨五入してあるので計が一致しない場合があります。

(3)　公営企業会計

事 業 の 概 況

① 病 院 事 業

青葉病院

千葉市立青葉病院は、平成15年5月、高齢化の進展や多様化する医療ニーズに応えるため、県立青葉の森公園の隣接地に開院しました。

救急・血液疾患・精神・感染症などの特殊医療やリハビリテーション機能に特色があり、高度先端医療に取り組み、地域の中核的な病院としての役割を果たしています。また、電子カルテシステムを中心とする総合医療情報システムを導入し、効率的で良質な医療を提供しています。

海浜病院

千葉市立海浜病院は、昭和59年10月、高度で先端的な診療機能を持つ地域の中核的な病院として、幕張メッセに近い海浜地区に開院しました。

高度医療として、心臓血管外科診療を中心とした、循環器疾患診療体制を整備するとともに、新生児科診療では新生児集中治療室病棟を設置し、集中的な医療を必要とする新生児に対応しています。また、夜間救急初期診療部を設置し、内科・小児科の24時間救急診療体制を整備しています。

なお、平成22年5月に地域周産期母子医療センターを設置し、産科救急に24時間対応しています。

患者の利用状況

区　分	入院患者数	１日平均	外来患者数	１日平均
	人	人	人	人
青葉病院	97,196 (101,570)	266 (278)	200,330 (196,657)	828 (809)
海浜病院	79,865 (79,810)	219 (219)	155,193 (158,243)	588 (607)

※(　)は前年度の状況です。

② 下 水 道 事 業

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠くことのできない重要な都市基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

事業実績については、平成21年度末の事業認可面積13,067haのうち、12,173haが整備済に、接続人口が平成20年度末より10,359人増加して912,749人に、接続率は98.4％となりました。

雨水対策については、中央雨水１号貯留幹線への取水施設や中央雨水ポンプ場の機械電気設備工事を継続して実施したほか、雨水管渠の整備と雨水貯留・浸透施設の設置を行い、地下水の涵養にも配慮した施策を推進しました。

合流式下水道の改善については、水質汚濁対策として、稲毛黒砂貯留管への取水施設や中央雨水ポンプ場雨水滞水池からの圧送管の整備を実施しました。

高度処理化の推進については、南部浄化センターＣ系水処理施設土木工事を継続して実施し、下水道施設の再構築については、神明第２ポンプ場が完成し、供用開始しました。

汚水管渠整備については、高津戸町、武石町、加曽利町等の面整備を推進した結果、整備面積が9ha増加しました。

また、老朽化した施設の改築・更新として、管渠の改良を行うとともに南部浄化センター、村田雨水ポンプ場等の機械・電気設備の更新工事を実施しました。

③ 水 道 事 業

平成21年度末の市営水道の普及状況は、計画給水区域内人口57,071人に対し、給水人口は46,095人で、普及率は80.8％となり、前年度に比べ0.6ポイント上昇しました。

主要な建設改良事業では、改良事業として、鉛給水管改修を緑区あすみが丘６丁目・８丁目などで584件実施しました。これにより、平成14年度から計画的に実施してきた改修は、平成22年度に終了する見込みとなりました。

経 理 の 状 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の決算状況は次のとおりとなっています。

① 病 院 事 業

（単位:百万円）

区 分		予算現額	収入		支出	
			執行額	執行割合	執行額	執行割合
青葉病院	収益的収入	9,284	9,146	98.5%		
	収益的支出	9,284			9,143	98.5%
	資本的収入	113	108	95.6%		
	資本的支出	1,054			1,048	99.4%
海浜病院	収益的収入	7,422	7,207	97.1%		
	収益的支出	7,422			7,205	97.1%
	資本的収入	350	342	97.7%		
	資本的支出	987			972	98.4%

(注)表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

資本的収支において、収入額が支出額に対して不足する額１５億６９百万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

② 下 水 道 事 業

（単位:百万円）

区 分	予算現額	収入		支出	
		執行額	執行割合	執行額	執行割合
収益的収入	22,560	22,335	99.0%		
収益的支出	22,254			21,584	97.0%
資本的収入	20,146	13,951	69.2%		
資本的支出	29,067			22,670	78.0%

(注)表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

資本的収支において、収入額（前年度財源充当額を除く。）が支出額に対して不足する額８９億４７百万円は当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

③ 水 道 事 業

（単位:百万円）

区 分	予算現額	収入		支出	
		執行額	執行割合	執行額	執行割合
収益的収入	2,110	2,037	96.5%		
収益的支出	2,057			1,984	96.5%
資本的収入	1,630	1,489	91.3%		
資本的支出	2,277			2,133	93.7%

(注)表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

資本的収支において、収入額が支出額に対して不足する額６億４４百万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

損益勘定留保資金

収益的支出において、減価償却費のように現金の支出を必要としない費用を計上し、企業内に留保してある資金をいいます。

Ⅵ　財　政　指　標

財政指標は、各地方公共団体の財政構造を比較し分析するために用いられる数値です。

平成19年度からは、新たに「健全化判断比率」や「資金不足比率」という指標が定められ、これまでの指標では対象となっていなかった「国民健康保険事業」などの公営事業会計、「病院事業」などの公営企業会計、や「土地開発公社」などの外郭団体が新たに対象に加わりました。

また、健全化判断比率や資金不足比率には「早期健全化基準」、「財政再生基準」及び「経営健全化基準」が設けられ、これらの基準を超えた場合、計画的に財政の健全化を図らなくてはなりません。

ここでは、平成21年度決算における財政指標の数値をお知らせします。

※千葉市におけるそれぞれの指標が対象とする会計や外郭団体は以下のとおりです。

				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
一般会計等	一般会計			○	○	○	○
	一般会計等に属する特別会計		母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	○	○	○	○
			霊園事業特別会計	○	○	○	○
			都市計画土地区画整理事業特別会計	○	○	○	○
			市街地再開発事業特別会計	○	○	○	○
			公共用地取得事業特別会計	○	○	○	○
			学校給食センター事業特別会計	○	○	○	○
			公債管理特別会計	○	○	○	○
公営事業会計	一般会計等以外の特別会計のうち、公営企業に係る特別会計以外の特別会計		国民健康保険事業特別会計		○	○	○
			老人保健医療事業特別会計		○	○	○
			介護保険事業特別会計		○	○	○
			後期高齢者医療事業特別会計		○	○	○
			競輪事業特別会計		○	○	○
公営企業会計	公営企業に係る会計（地方公営企業法を適用する事業または地方財政法施行令第37条の事業）	法適用企業	病院事業会計	○	○	○	○
			下水道事業会計	○	○	○	○
			水道事業会計	○	○	○	○
		法非適用企業	農業集落排水事業特別会計	○	○	○	○
			中央卸売市場事業特別会計	○	○	○	○
			動物公園事業特別会計	○	○	○	○
一部事務組合			千葉県市町村総合事務組合			○	○
			千葉県後期高齢者医療広域連合			○	○
地方三公社等			千葉市土地開発公社				○
			千葉市都市整備公社				○

				資金不足比率（会計ごと）
公営事業会計	公営企業に係る会計（地方公営企業法を適用する事業または地方財政法施行令第37条の事業）	法適用企業	病院事業会計	○
			下水道事業会計	○
			水道事業会計	○
		法非適用企業	農業集落排水事業特別会計	○
			中央卸売市場事業特別会計	○
			動物公園事業特別会計	○

1　健全化判断比率

・実質赤字比率：翌年度に繰り越す財源を除いた実質的な収支における赤字額の標準財政規模に対する割合を示す数値。（収支が黒字の場合「－」で示されます。）

・連結実質赤字比率：公営事業会計や公営企業会計を含めた全会計での赤字額の標準財政規模に対する割合を示す数値。（収支が黒字の場合「－」で示されます。）

・実質公債費比率：地方債の元利償還金のほか、「準元利償還金」と呼ばれる債務負担行為の償還などを含めた実質的な公債費の標準財政規模に対する割合を３カ年平均で示す数値。

・将来負担比率：地方債や債務負担のほか、外郭団体への損失補償など市に関連するすべての負債残高の標準財政規模に対する割合を示す数値。

項　　目	千　葉　市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	11.25	20.00
連結実質赤字比率	0.44	16.25	40.00
実質公債費比率	21.1	25.0	35.0
将来負担比率	306.4	400.0	－

※将来負担比率には財政再生基準はありません。

2　資金不足比率

未払金などの流動負債が現金・預金などの流動資産を上回る「資金不足額」の事業規模（料金収入）に対する割合を会計ごとに示す数値。（資金が余剰している場合は「－」で示されます。）

農業集落排水事業	中央卸売市場事業	動物公園事業	経営健全化基準
－	－	－	20.0
病　院　事　業	下水道事業	水　道　事　業	
－	－	－	

3　財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な一般財源に対する市税等の割合を示す数値であり、普通交付税の算定に用いる「基準財政収入額」を「基準財政需要額」で除して得た数値の３カ年の平均値です。
この数値が高いほど、財政力が強いとされ、１を超える地方公共団体は、普通交付税の不交付団体となります。

千　葉　市	他政令市平均
1.019	0.866

4　経常収支比率

経常収支比率は、市税や普通交付税など毎年度連続して経常的に収入される経常一般財源等に占める人件費や公債費等の経常的経費に充てられる一般財源の割合を示す数値であり、この数値が高いほど、財政構造が硬直的であるとされています。

千　葉　市	他政令市平均
99.2	95.3

平成22年12月

市の財政（財政状況の公表）

平成22年12月１日発行

編集
発行　千葉市財政局財政部財政課

千葉市中央区千葉港１番１号
電話 043（245）5077

この印刷物は再生紙を使用しています。

※本市の予算・決算など、財政に関するその他の資料については、財政課ホームページをご覧ください。

http://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/zaisei/

THE FLOWERY CITY・CHIBA

花の都・ちば